

cado

取扱説明書

Dehumidifier

ROOT 

7100

# 重要

このたびは、カドー除湿機「ROOT 7100」を  
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書および  
別冊の「安全上のご注意」をお読みください。  
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

## CLUB CADO ご愛用者登録のご案内

お買い上げ製品をご登録いただくと、製品に関する充実したサポートや  
会員限定のお得なセール情報などが届きます。  
ぜひこの機会にご登録ください。

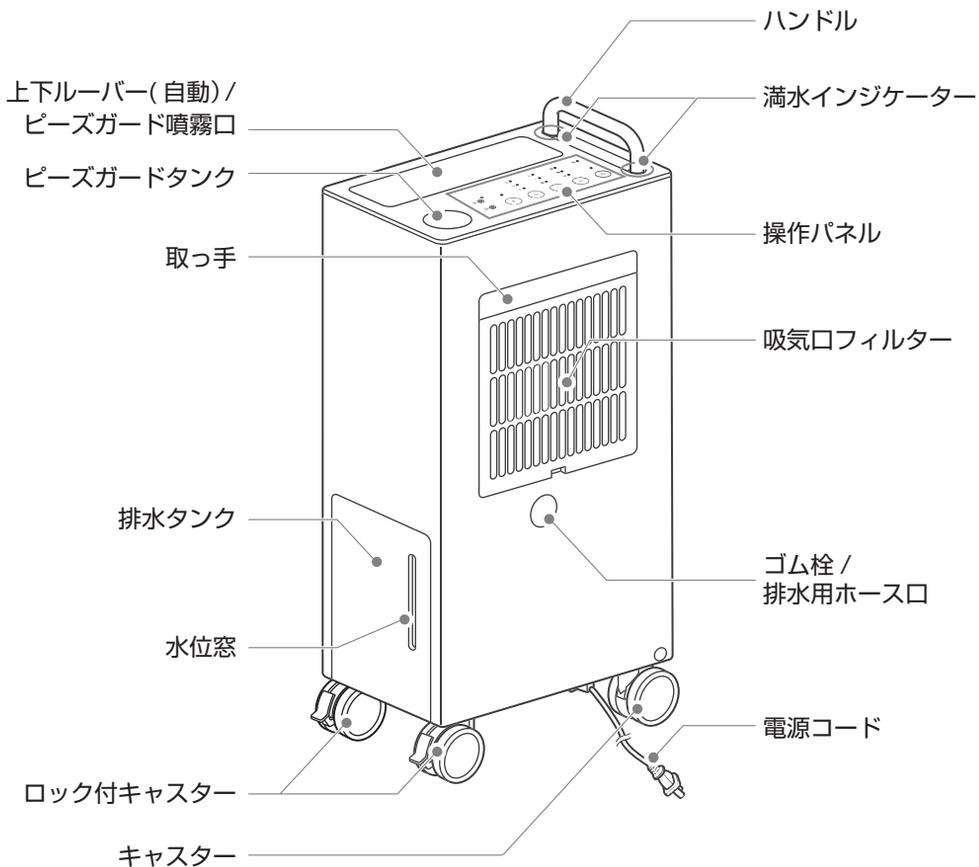
[cado.com](https://cado.com)

cado

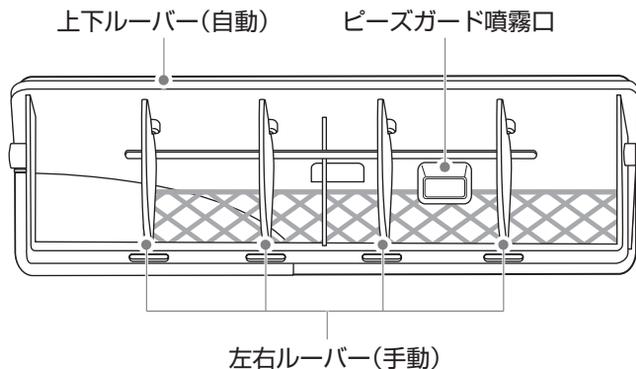
# 目次

各部の名前 .....	3	排水のめやす .....	13
上下ルーバー .....	4	移動する .....	14
本体背面(内部) .....	4	<b>排水のしかた .....</b>	<b>16</b>
<b>本体の組み立て .....</b>	<b>5</b>	排水タンクの水を捨てる .....	16
ピースガードを入れる .....	5	ホースを使って連続排水する .....	18
電源を接続する .....	6	<b>お手入れのしかた .....</b>	<b>20</b>
<b>設置について .....</b>	<b>7</b>	本体 / 排水タンク .....	20
<b>使いかた .....</b>	<b>8</b>	ピースガードタンク .....	23
操作パネル .....	8	吸気口フィルター .....	23
運転を開始する .....	8	排水用ホース口 / ホース .....	25
運転モード .....	9	長時間使わないとき .....	25
風量を調節する .....	10	<b>除湿機能について .....</b>	<b>26</b>
タイマー運転 .....	10	本機のしくみ .....	26
除菌・消臭する .....	11	使用時の室温について .....	27
除湿・衣類乾燥時に除菌・消臭する .....	11	霜取り機能 .....	27
ピースガード補充のめやす .....	11	<b>故障かな? .....</b>	<b>28</b>
風向を変える .....	12	<b>仕様 .....</b>	<b>32</b>
インジケーターの明るさを調整する .....	13		
自動運転停止機能 .....	13		

# 各部の名前

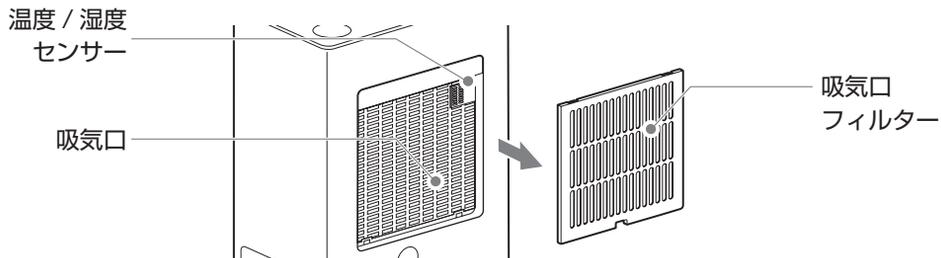


## 上下ルーバー



上下ルーバーは運転状態に連動して自動で開閉します。

## 本体背面 (内部)

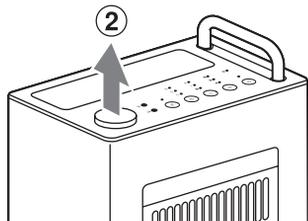
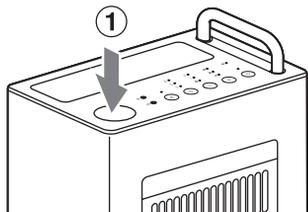


# 本体の組み立て

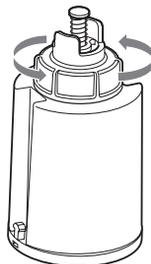
## ピースガードを入れる

別売りのピースガード(PG-L800)をご使用いただくことで除菌・消臭モードで運転することができます。

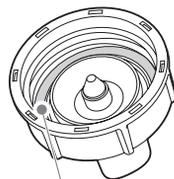
1. ピースガードタンクを取り出します。  
(①)の部分を指で押し込んで離すと、ピースガードタンクが出てきます。  
タンク周囲の凹部に指を引っ掛け、タンクを上持ち上げます(②)。
2. タンクキャップを反時計回りに回し、はずします。



ピースガード  
タンク



タンク  
キャップ

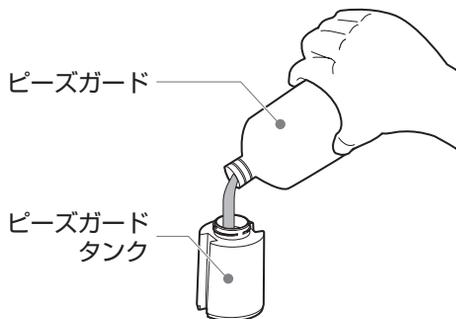


パッキン

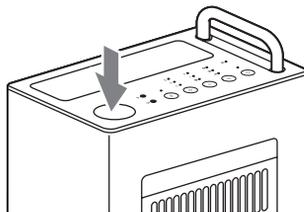


- タンクキャップのパッキンがはずれやすいので、落とさないようご注意ください。パッキンがはずれると液漏れの原因になります。必ず取り付けてください。
- タンクを持ち運ぶときは、タンクキャップが上になるように持ち運びます。

3. ピーズガードタンクにピースガードを入れます。



4. タンクキャップを閉め、ピースガードタンクを本体にカチッと音がするまで指で押し込みます。



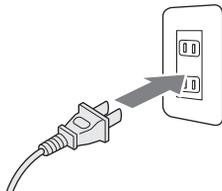
**!** ピーズガード以外の液剤は絶対に使用しないでください。液漏れや故障の原因になります。

**!** ピーズガードを使用しない場合でも、ピースガードタンクをセットしてご使用ください。異物などが入り、故障の原因になります。

## 電源を接続する

電源プラグをコンセントに差し込みます。

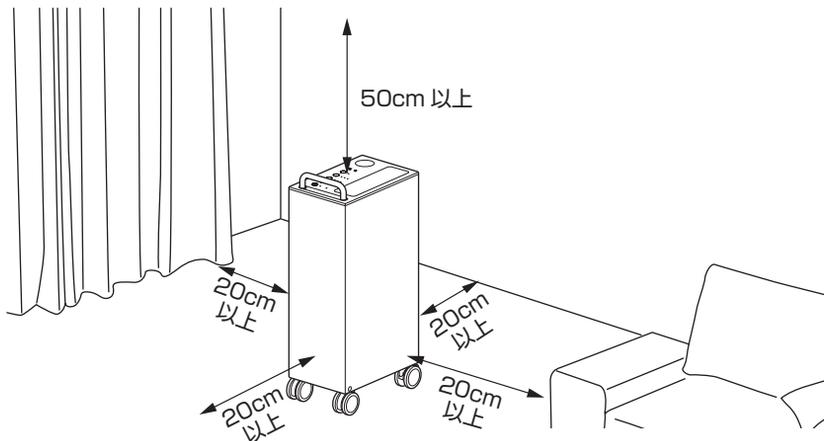
電源が正常に接続されると、すべてのインジケータが約 2 秒間点灯します。



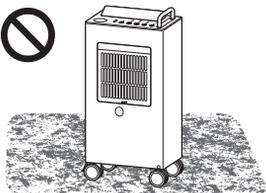
# 設置について



- 温度が約 5℃～35℃のお部屋で使用してください。
- ピーズガードの効果を発揮させるため、ピースガードが窓や壁に付着しないように、なるべく離れた場所に設置してください。

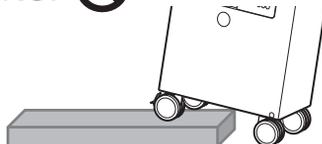


NO!



毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。本体が傾いたり、ほこりなどがつまり、故障の原因になります。

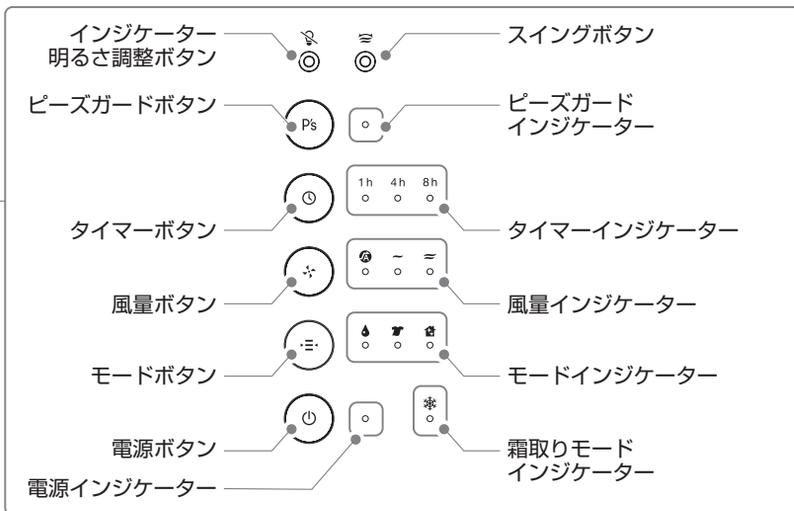
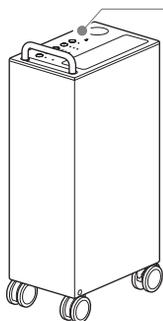
NO!



傾斜のある場所や不安定な場所、高い場所で使用しないでください。落下や転倒、誤動作の危険性があります。

# 使いかた

## 操作パネル



## 運転を開始する

電源ボタンを押します。⏻

インジケータが点灯し、上下ルーバーが開き、除湿モード💧で運転を開始します。  
(起動時は除湿モードに設定されています。)

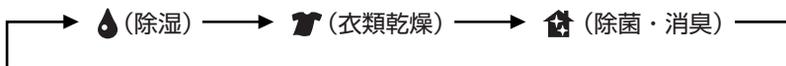
運転中に電源ボタンを押すとインジケータが消灯、上下ルーバーが閉じ、運転が停止します。



本体への負担を避けるため、電源プラグをコンセントに差し込んだ直後、または除湿モード、衣類乾燥モードを停止した直後から約3分間は、送風運転となります。

## 運転モード

運転中にモードボタンを押します。▶❏◀  
モード(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



### 運転モードについて

 除湿	除湿運転を行います。 通常はこのモードで使用します。
 衣類乾燥	除湿運転を行いながら、衣類を乾燥させる時に使用します。 上下ルーバーと衣類の間は、20cm 以上離してください。
 除菌・消臭	ピースガードによる除菌・消臭運転を行います。 (このモードに除湿機能はありません。)

 本体への負担を避けるため、除湿モード、衣類乾燥モードで運転中に、周囲の温度が約 5℃ 以下または約 35℃ 以上のときは、圧縮機(コンプレッサー)が停止し、送風運転となります。

## 風量を調節する

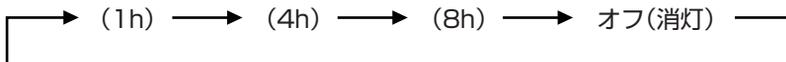
運転中に風量ボタンを押します。✪  
風量(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



自動 **A** を選ぶと、運転中は各モードに最適な風量に自動的に切り替わります。  
お好みで風量を変えたい場合は、弱 **~** または強 **≐** を選んでください。

## タイマー運転

運転中にタイマーボタン **🕒** を押します。  
指定した時間が経過すると自動で電源オフします。  
タイマー(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



## 除菌・消臭する

モードボタン  を押し、除菌・消臭モード  を選びます。

除菌・消臭モードインジケータおよびピースガードインジケータが点灯し、ピースガードを噴霧しながら送風運転を行います。



- このモードに除湿機能はありません。
- 除菌・消臭モードのときは、ピースガードボタン P's を押ししてもオフにできません。

## 除湿・衣類乾燥時に除菌・消臭する

除湿・衣類乾燥時にピースガードボタン P's を押す。

ピースガードインジケータが点灯し、ピースガードを噴霧しながら除湿運転を行います。

もう一度ピースガードボタンを押すと、ピースガードインジケータが消灯し、ピースガードの噴霧を停止します。

## ピースガード補充のめやす

ピースガード噴霧中にピースガードが無くなると、ピースガードインジケータが点滅します。「ピースガードを入れる」⇒ p.5 を参照してピースガードを補充してください。



初めてご使用になる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、ピースガードタンクを本体に取り付けたときに、本体内部の噴霧ユニット部にもピースガードを補給するため、液剤をより多く消費します。

## 風向を変える

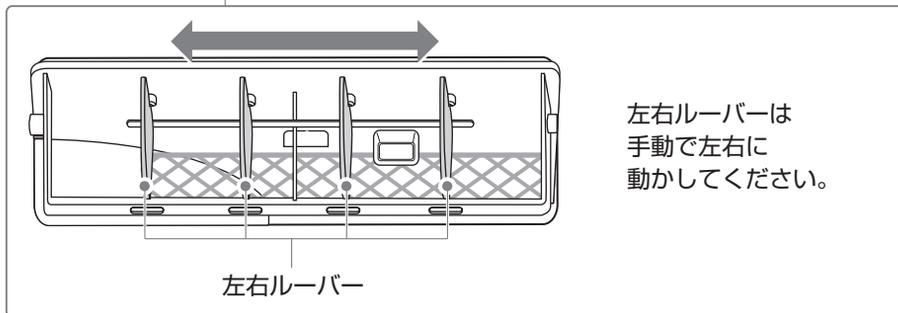
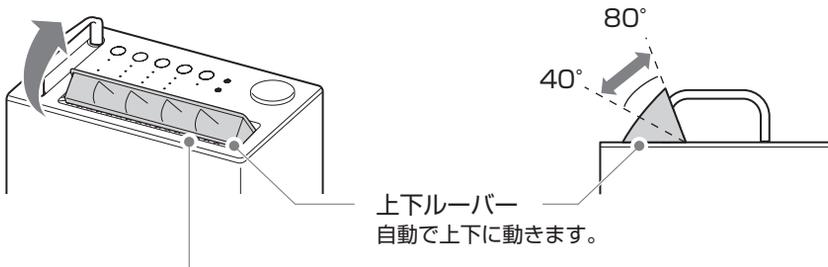
スイングボタン  を押す。

上下ルーバーが上下(40°~80°)に動き、風が吹く方向が自動的に変わります。

お好きな角度のところでスイングボタンを押すと、その角度で上下ルーバーが固定されます。

(調整可能角度は、下の図を参照してください。)

内部にある左右ルーバーは、手動で左右に向きを変えることができます。4つの左右ルーバーは、すべて連動して動きます。



上下ルーバー内部には物を入れないでください。故障の原因になります。

## インジケータの明るさを調整する

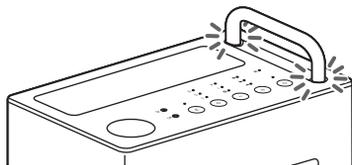
インジケータ明るさ調整ボタン  を押すとインジケータの明るさを調整できます。明るめと暗めの 2 種類の明るさから選んでください。

## 自動運転停止機能

切り忘れ防止のため、すべてのモードにおいて運転開始から 12 時間経過すると、自動的に停止します。(ピーという音がすると同時に運転が停止し、電源インジケータとタイマーインジケータのすべてが点滅します。)

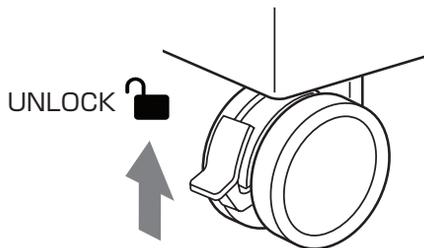
## 排水のめやす

排水タンクが満水になったら、運転が停止し、ハンドル部の満水インジケータが赤く点滅します。「排水のしかた」⇒ p.16 に従って排水タンクの水を捨ててください。



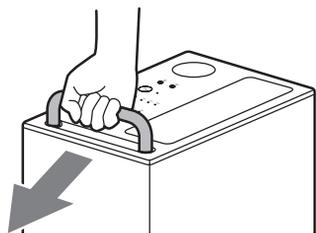
## 移動する

1. 運転を停止し、電源プラグを抜きます。
2. 排水タンクの水を捨てます。  
本体に水が残っていない状態にしてください。
3. キャスターのロックを解除します。  
排水タンク下部のキャスター(2つ)はロックできません。  
カチッと音がするまでロックレバーを上げ、キャスターのロックを解除します。

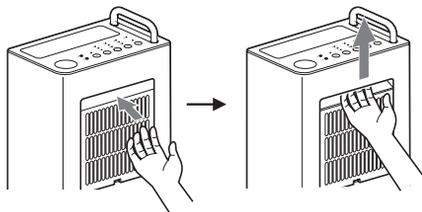


**!** キャスターのロックを解除せずに移動しないでください。床が傷ついたりキャスター破損の原因になります。

#### 4. 設置したい場所へ移動します。



ハンドルをにぎり、キャスターで移動することができます。

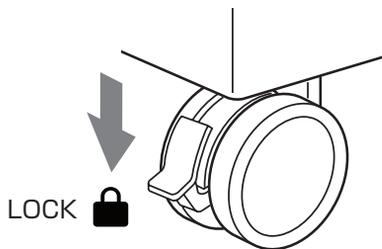


持ち運ぶ場合は、取っ手に手を差し込み、持ち上げて移動してください。



- ハンドルは固定式であり、引き上げることはできません。
- ハンドルを持って本体を持ち上げないでください。
- 電源コードを引っ張って、移動しないでください。
- 移動するときは、電源コードがキャスターに巻き込まれないようご注意ください。
- 本体を傾けて移動すると水漏れや床を傷つける原因になります。4つのキャスターが床面に接地した状態で移動してください。

#### 5. ロックレバーを下げ、キャスターをロックします。



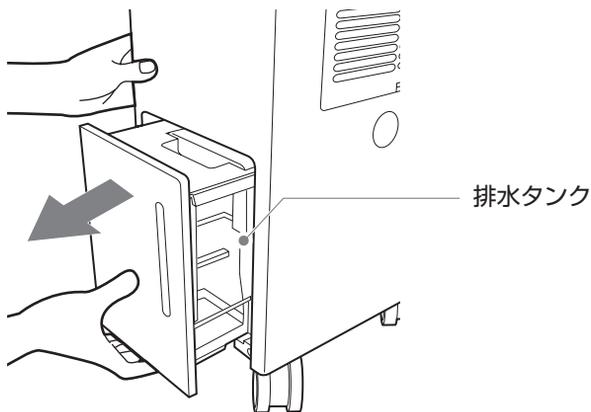
# 排水のしかた



- 排水タンクは必ず取り付けてください。排水タンクがセットされていないと、運転を開始しません。
- 排水タンクは、本体にしっかりと差し込み、確実にセットしてください。
- 排水タンクは、力強く中に押し込まないでください。破損するおそれがあります。

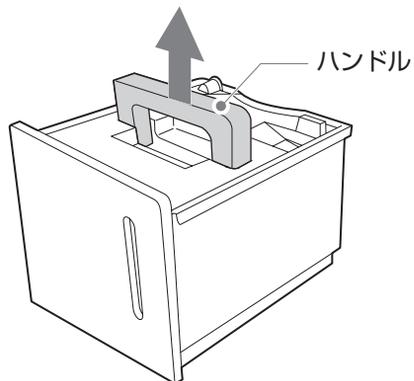
## 排水タンクの水を捨てる

1. 排水タンクの下に手を差し込み、排水タンクを引き出し、排水タンクを取り出します。  
(ハンドル部の満水インジケーターが赤く点滅し、自動的に運転を停止します。)

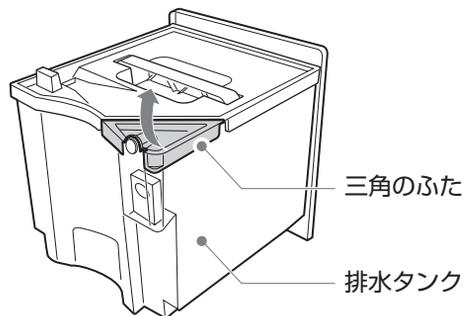


- 排水タンクを引き出すときは、本体を押さえながら、ゆっくり水平に引き出してください。本体内部に水が漏れるおそれがあります。

2. ハンドルを上に取り出し、持ち運びます。



3. 排水タンクの三角のふたを開け、水を捨てます。



4. 三角のふたをきちんと閉じ、排水タンクを本体にセットします。  
満水インジケータが消灯し、運転を再開します。

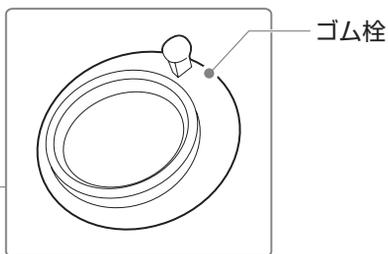
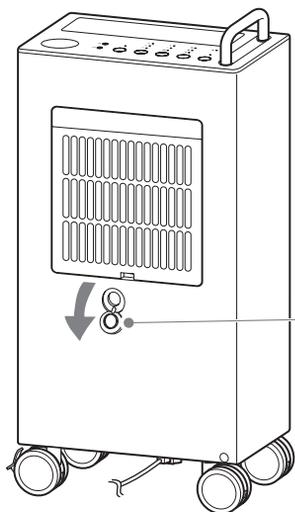
## ホースを使って連続排水する

市販のホースを使って連続排水することができます。



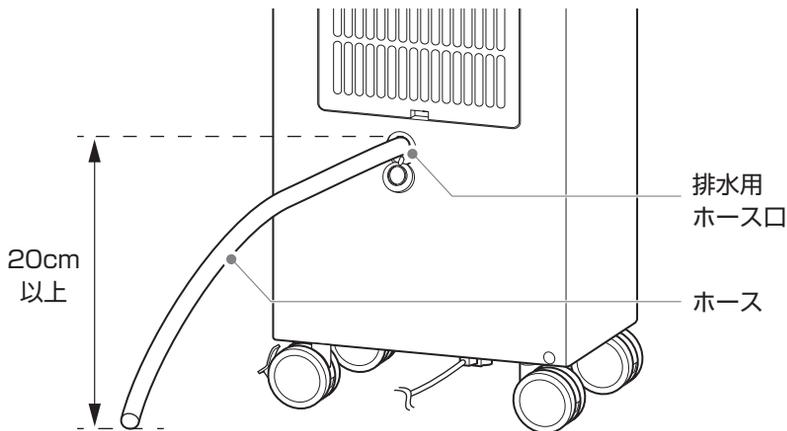
市販のホースは内径 12mm、外径 16mm のものをご使用ください。

1. 排水タンクを本体にセットします。
2. 背面のゴム栓を開けます。



背面のゴム栓を開けるときは、紛失を避けるため、ゴム栓の突起部分を抜かないでください。

3. ホースを排水用ホース口にしっかり差し込みます。  
ホースは必ず排水用ホース口より低く、先端は 20cm 以上低い位置になるように設置してください。

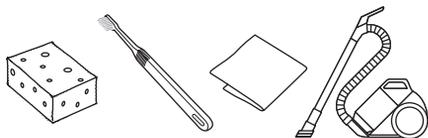


- ❗ ホースは確実に差し込んでください。しっかり差し込まないと、本体内部に水が漏れ、故障するおそれがあります。
- ホースの口が広がっているものは使用しないでください。本体内部に水が漏れるおそれがあります。
- 排水用ホース口から外に出ているホースは折り曲げないでください。
- ホースは氷点下にならない場所でご使用ください。ホース内の水が凍結し、本体内部の水が外に漏れるおそれがあります。

# お手入れのしかた

- お手入れをせずに使用を続けると、ほこりなどがたまり、除湿機の性能を十分に発揮できなくなる可能性があります。定期的にお手入れを行ってください。  
(排水タンク：週1回以上 / 本体・その他：2週間に1回以上を推奨)
- 定期的なお手入れが行われない場合、汚れなどによる故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

市販のスポンジ、やわらかいブラシ、やわらかい布、掃除機などを用意すると便利です。



しつこい汚れには水で薄めた中性洗剤を使用してください。



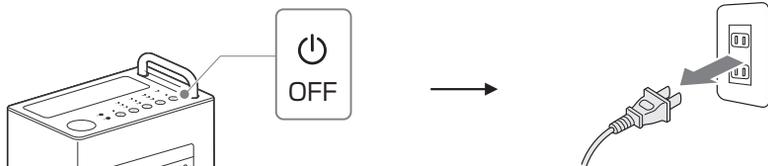
- 中性以外の洗剤は使用しないでください。  
本体を傷つける可能性があります。
- 洗浄後はきれいな布などで中性洗剤を十分に落としてください。



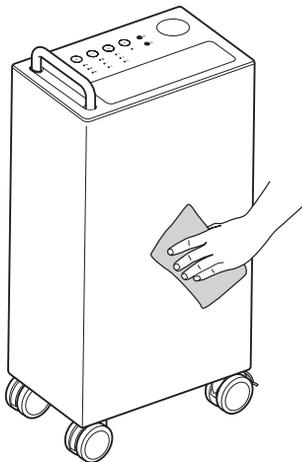
硬いブラシは使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。

## 本体 / 排水タンク

1. 本体の電源をオフにして電源プラグを抜きます。



2. 乾いたやわらかい布、または固くしぼった布で本体のほこりをふき取ります。

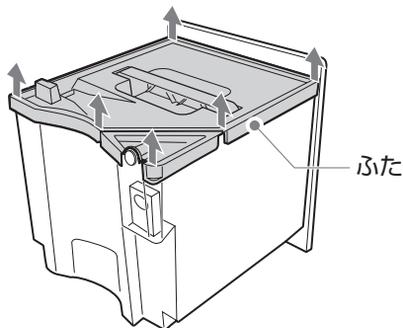


- ❗ 本体を直接水につけて洗わないでください。

3. 排水タンクを取り出し、水を捨てます。  
「排水タンクの水を捨てる」⇒ p.16 を参照してください。

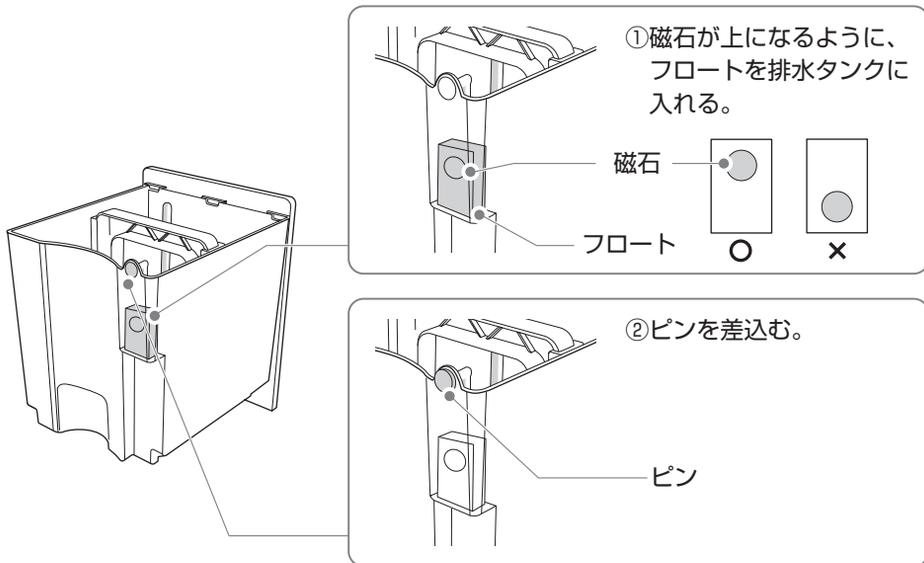
- ❗ タンクが汚れると、カビや雑菌が繁殖し、ニオイの原因になります。

4. 排水タンクのふた全体をはずし、台所スポンジなどを使って洗い、十分にすすぎ、やわらかい布で水分をふき取ります。



5. フロートが正しくセットされているか確認してください。  
排水タンクに水がたまると、フロートが浮き上がり、水位が検知されます。  
お手入れ中にフロートがはずれた場合は、フロートを図のような向きに入れ①、ピンを差し込みます②。

- ❗ フロートの向きを間違えると水漏れの原因になります。
- ❗ フロートを破損しないようご注意ください。



6. 排水タンクにふたを取り付けます。

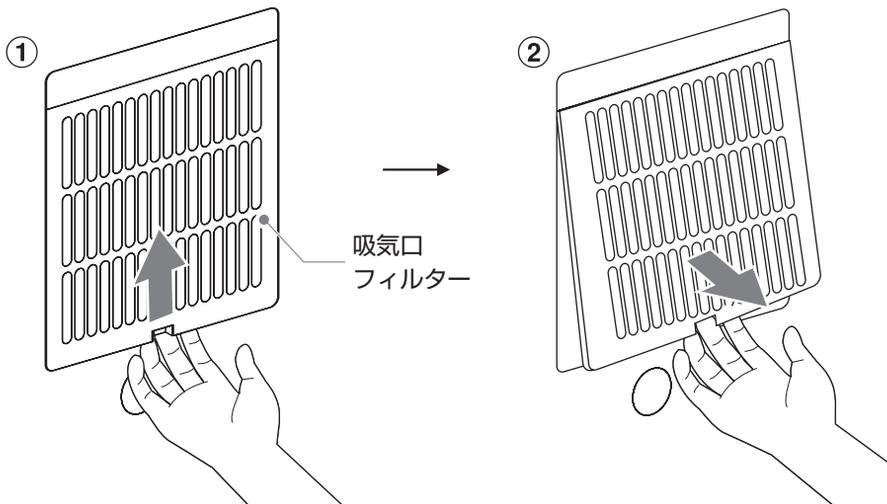
- ❗ 水漏れしないよう、しっかりとふたを閉じてください。

## ピースガードタンク

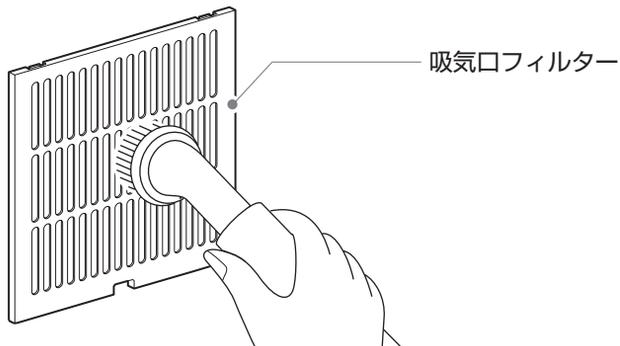
1. 「ピースガードを入れる」⇒ p.5 を参照してピースガードタンクをはずし、タンクキャップとタンク内部を水洗いします。
2. やわらかい布で水分をふき取ってください。

## 吸気口フィルター

1. 吸気口フィルターをはずします。  
指をフィルターの下に差し込み、上に押し上げ(①)、吸気口フィルターを外側に引いてください(②)。

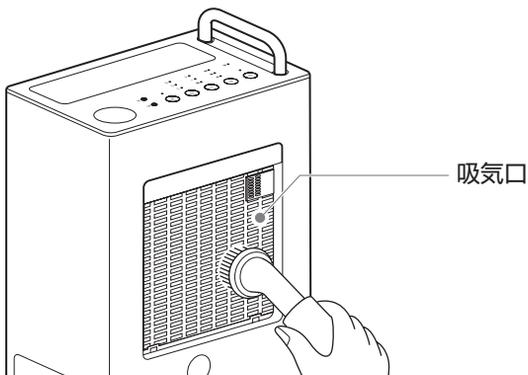


2. 掃除機でフィルター両面のホコリを吸い取ります。



**!** 汚れがひどいときは、以下の方法で掃除してください。  
台所用合成洗剤を薄めた水にフィルターを約 10 分間漬け、しっかりとすすいだ後、陰干ししてください。

3. 掃除機で本体吸気口のホコリを吸い取ります。



## 排水用ホース口 / ホース

本体背面の、排水用ホース口、ゴム栓を掃除してください。  
また、ホースが詰まっている、折れ曲がっているなどの異常が無い点検してください。

## 長期間使わないとき

1. 本体内部を乾燥します。  
ピーズガードが無い状態で除菌・消臭モード  で運転すると、本体内部を乾燥できます。  
「ピーズガードを入れる」⇒ p.5 を参照してピーズガードタンクの液体を捨て、  
ピーズガードタンクを本体に戻してから、モードボタンで除菌・消臭モード  、  
風量ボタン  で自動  を選択し、2 時間以上運転してください。
2. 排水タンクの水を捨て、排水タンクと本体のお手入れをします。  
「排水のしかた」⇒ p.16 「お手入れのしかた」⇒ p.20 を参照してください。
3. ポリ袋などを本体にかぶせ、直射日光が当たらない、乾燥した場所に保管してください。

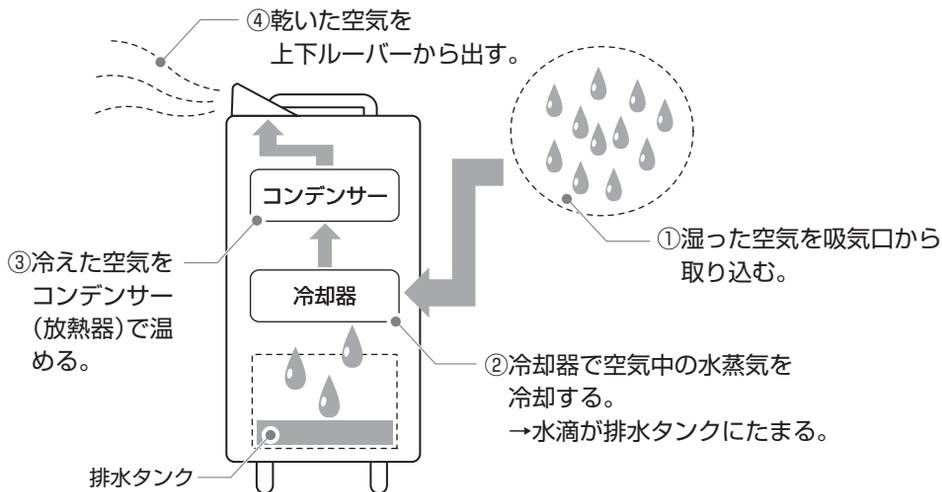


外出時や長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 除湿機能について

## 本機のしくみ

湿気を多く含む温かい空気が冷たいものの表面に触れると、水滴が生じます。この現象を利用し、本機に取り込まれた(湿気を含む)空気を冷却器に当て、水分を取り出すことにより、除湿します。



- 本機にはエアコンのような冷房機能はありません。
- 運転中には熱が発生します。そのため、ご使用環境によっては、室温が約 $2^{\circ}\text{C}$ ~ $5^{\circ}\text{C}$ 上がる場合があります。
- 環境によっては、湿度を55%~60%に維持できないことがあります。

## 使用時の室温について

温度が約 5℃～35℃のお部屋で使用してください。

以下の場合、本体内部の圧縮機(コンプレッサー)が停止し、送風運転になります。

1. 室温が約 5℃以下のとき  
排水タンクの水が凍結するのを防ぐため、送風運転となります。  
(除湿モード、衣類乾燥モード)
2. 室温が約 35℃以上のとき  
本体への負担を避けるため、送風運転となります。  
(除湿モード、衣類乾燥モード)

## 霜取り機能

本体周辺温度が約 15℃以下になると、本体内部に霜が付くことがあるため、自動的に霜取り(送風運転)をします。

約 45 分に 1 回、約 10 分間圧縮機(コンプレッサー)が停止し、風量強で送風運転します。お部屋の温度が低いときは、1 回あたりの停止時間が長くなります。

(作動中は霜取りモードインジケータ  が点灯します。

# 故障かな？

症状	確認事項	対処
除湿しない 除湿量が少ない 風が出ない	吸気口フィルターや吸気口、または上下ルーバーがふさがっていませんか？	吸気口フィルターや吸気口、または上下ルーバーをふさがないようにご注意ください。 また、汚れている場合は、お手入れをしてください。
排水タンクに水がたまらない	お部屋の構造やご使用環境、室温や湿度をご確認ください。	一般的に低い室温や低い湿度のときは除湿量が少なくなり、排水タンクに水がたまらないことがあります。
湿度が下がらない 衣類が乾かない	除湿モード、衣類乾燥モード運転中のお部屋の室温や湿度をご確認ください。	約 5℃以下： 本体内部凍結予防のため、自動的に送風運転になります。  約 35℃以上： 保護装置がはたらき、自動的に送風運転になります。  約 15℃以下： 霜取り機能 ⇒ p.27 で自動的に送風運転になります。  お部屋の環境によっては 50%以下の低湿度に維持することはできません。

症状	確認事項	対処
<p>ピーズガードが噴霧されない</p>	<p>ピーズガードインジケータは点灯していますか？</p> <p>本体が傾いていたりしませんか？</p> <p>ピーズガードがなくなっていますか？</p> <p>お部屋の環境をご確認ください。</p>	<p>除湿モード、衣類乾燥モードで運転中の場合は、ピーズガードボタンを押すことでピーズガードが噴霧されます。</p> <p>噴霧を安定させるため、水平で安定した場所に設置してください。</p> <p>ピーズガードが少なくなると、ピーズガードインジケータが点滅します。ピーズガードを入れる⇒p.5 の手順に従いピーズガードを補充してください。</p> <p>室温や湿度によってはピーズガードの噴霧が見えないことがあります。</p>
<p>運転しない</p> <p>ハンドル部の満水インジケータが点滅する</p>	<p>排水タンクが満タンになっていませんか？</p> <p>排水タンクは正しく取り付けられていますか？</p> <p>フロートは正しく取り付けられていますか？</p>	<p>排水のしかた⇒ p.16 に従い排水タンクの水を捨ててください。</p> <p>排水タンクを正しく取り付けてください。</p> <p>お手入れのしかた⇒ p.20 に従い、正しくフロートを取り付けてください。</p>

症状	確認事項	対処
<p>運転が停止する</p> <p>電源インジケータ ーとタイマーインジ ケータのすべて (1h/4h/8h)が点滅す る</p>	<p>運転開始から、操作をせずに 12時間が経過しましたか？</p>	<p>自動運転停止機能⇒ p.13 に より運転を停止しました。 もう一度電源ボタンを押して 運転を再開してください。</p>
<p>音が大きい</p>	<p>室温が低すぎませんか？</p> <p>安定した場所に設置していま すか？</p> <p>吸気口フィルターや吸気口、ま たは上下ルーバーがふさがっ たり、汚れたりしていませんか？</p> <p>排水タンクは正しく取り付け られていますか？</p>	<p>低い室温のときに運転すると、 数秒間音が大きくなること があります。 (使用条件により音が大きくな る期間は変わります。)</p> <p>振動の無い、水平で安定した場 所に設置してください。</p> <p>吸気口フィルターや吸気口、ま たは上下ルーバーをふさがな いようご注意ください。 また、汚れている場合は、お手 入れをしてください。</p> <p>排水タンクを正しく取り付け てください。</p>
<p>風量が安定しない</p>	<p>自動モードで運転していま せんか？</p>	<p>風量を自動に設定していると、 各モードに応じて最適の風量 に自動的に切り替わります。</p>

症状	確認事項	対処
<p>温かい風が出る 室温が高くなる</p>	<p>除湿モード、衣類乾燥モードで 運転していませんか？</p>	<p>除湿運転中は熱を発生しますので、上下ルーバーから温かい風が出ます。 (除湿機能について⇒ p.26 )</p>
<p>水が漏れる。</p>	<p>本体が傾いていたりしませんか？</p> <p>排水タンクは正しく取り付けられていますか？</p> <p>フロートは正しく取り付けられていますか？</p> <p>排水ホースは正しく取り付けられていますか？</p>	<p>水平で安定した場所に設置してください。</p> <p>排水タンクを正しく取り付けてください。</p> <p>お手入れのしかた⇒ p.20 に従い、正しくフロートを取り付けてください。</p> <p>ホースを使って連続排水する⇒ p.18 に従い、正しく排水ホースを取り付けてください。</p>
<p>本体のニオイが気になる</p>	<p>本体内部が汚れていませんか？</p>	<p>お手入れのしかた⇒ p.20 に従い、本体をお手入れしてください。また、定期的に長時間使わないとき⇒ p.25 の手順にしたがい、本体内部を乾燥することをおすすめします。</p>

# 仕様

## ROOT 7100

型名	DH-C7100	
電源	100V 50 - 60Hz	
電源周波数※ <sup>1</sup>	50Hzの場合	60Hzの場合
定格除湿能力(L/日)※ <sup>2</sup>	6.5	7.5
除湿可能面積の目安	木造住宅	8畳(14m <sup>2</sup> )
	コンクリート住宅	16畳(27m <sup>2</sup> )
消費電力(W)	除湿(強) 室温 35℃/湿度 90%	210
	除湿(強) 室温 27℃/湿度 60%	170
	衣類乾燥 室温 27℃/湿度 60%	172
	除菌・消臭(強)	35
運転音(dBA)	除湿(強)	45
	衣類乾燥	48
	除菌・消臭(強)	47
待機時消費電力(W)	0.4	0.4

冷媒フロン類	R134a
外形寸法(mm)	幅 327 ×奥行 207 ×高さ 682
重量 (kg)	約 12
電源コード長(m)	約 1.8
ピースガードタンク 容量(mL)	約 90
排水タンク容量(L)	約 3.5
付属品	取扱説明書、安全上のご注意、保証書
消耗品	ピースガード PG-L800

- ※1 50Hz、60Hz いずれの地域でもご使用になれます。
- ※2 除湿モード(風量強)で運転し、室温 27℃、相対湿度 60% を維持し続けたときの1日あたりの除湿量です。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。  
本製品は国内専用です。電源や法規制の異なる海外では使用できません。

製品に関する最新情報  
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

**0120-707-212**

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00

土・日・祝、弊社休業日を除く

**株式会社カドー**

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

